

中学校第2学年 国語科学習指導案  
単元名：きずなを読む「盆土産」

指導者 安芸高田市立甲田中学校 竹内 明子

- 1 日 時 平成26年10月2日(木) 6校時(14:30~15:20)
- 2 学年・組 第2学年(37名)
- 3 場 所 体育館

## 単元について

本単元は、主として中学校学習指導要領国語科第2学年の2内容「C読むこと」の指導事項「イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」を受けて設定したものである。こうした指導事項を受けて本単元で付けたい力は、「描写や登場人物の言動の意味に注意し、内容を理解したり表現を味わったりする」である。

「盆土産」は、東北地方の「山村」を舞台とし、そこに住む小学三年生の少年と中学生の姉、祖母、東京に出稼ぎに出ている父親、早逝した母親で構成される一家のお盆の二日間が描かれた作品である。時代は、1950年度後半から1970年代前半の高度経済成長期で、農村部から多くの男性が建設、土木作業員として都市部に出稼ぎに行っていた。この作品に描かれている生活風景は、現代の私たちが生活している消費中心、飽食の生活とはかけ離れたものがあり、現代の生徒たちには理解しづらいかもしれない。しかし、どのように互いを思いやり生活しているのか、という人を思いやる気持ちや「きずな」は普遍のものである。この作品は、離れていても心がつながり互いに寄り添いあい生活する家族の姿やきずなを豊かな表現で描いており、生徒はきずなをテーマに読み味わうことができると考えられる。また、登場人物の言動などの描写やテーマがわかりやすいため、登場人物の言動から、心情を読み取ったり、文章全体の雰囲気を作り上げる効果を捉えたりするのに適した教材である。生徒は、「えびフライ」「土産」など、きずなを象徴するキーワードに着目しながら、登場人物の人柄や心情を読み取ることができると考える。

## 調査結果から見る課題

平成26年度「基礎・基本」定着状況調査から、五の2の「根拠に基づいた考えの記述」の通過率が73.0%、誤答率27.0%、無回答率0.0%となっている。

問題 田中さんと小林さんは、学校図書にある「山椒魚」の本には、【場面二】がえがかれているものとえがかれていないものがあることを知りました。そして、次のような会話をしました。

田中 「【場面一】と【場面二】では、山椒魚と蛙の関係が大きく変化しているよね。私は、【場面二】がある方がよいと思うよ。」

小林 「私は、【場面二】がない方がよいと思うわ。」

あなたは、【場面二】がある方がよいと思いますか。ない方がよいと思いますか。□の中の「ある・ない」のどちらかを選び、○を付け、あなたがそのように考える理由を、次の条件1～3にしたがって書きなさい。

条件1 【場面一】、【場面二】の両方の表現や内容を根拠として書くこと。

条件2 その根拠にもとづいた自分の考えを書くこと。

条件3 百二十字以上、百五十字以内で書くこと。

- 1 ○ 三つの条件をすべて満たしている 73.0%
  - ① 【場面二】がある方がよいか、ない方がよいかを選んでいる。
  - ② 【場面一】、【場面二】の両方の表現や内容を根拠にしている。
  - ③ 根拠に基づいた自分の考えを書いている。

2	△	条件①を満たしていないが、条件②③は満たしている。	0.0%
3	×	条件②を満たしていないが、条件①③は満たしている。	8.1%
4	×	条件③を満たしていないが、条件①②は満たしている。	8.1%
5	×	条件①②③のうち、二つ以上を満たしていない。	5.4%
9	×	上記以外の解答	5.4%
0	×	無解答	0.0%

上記の結果から、次のようなことが生徒の実態として考えられる。

- ・複数の条件を満たして書くことができていない。
- ・複数の場面の叙述を比べたり、関係づけたりして内容を読むことができていない。
- ・文章中の叙述を根拠にして、自分の考えを書くことができていない。

#### 〈学習集団の実態〉

本学級は生徒どうしの関わり合いが良好で、ペアやグループ学習で教え合いができる。また、授業中や発問等への反応もよく、わかるようになりたい、できるようになりたいと思っている生徒が多い。また、グループ学習の際には自分にはなかった新たな考え、意見があれば加筆、修正をする習慣がほとんどの生徒に付いている。しかし、発問で何を問われているのか十分に理解できていないうちに、思いつきで発言する生徒の姿も見られ、状況や機会に応じて、話の根拠と整合性を考えることが身に付いていない。このような実態から、根拠を明確にして自分の考えを書き、協同学習を通して多様な考えに触れることで学びを広げ深めていこうとする姿勢を育てている。

## 指導改善のポイント

### (1) 指導内容・指導方法（単元を貫く言語活動とその特徴）

本単元では、「家族や人間のきずなが伝わるベストシーン紹介リーフレットを書く」という単元を貫く言語活動を設定する。

「ベストシーンリーフレット」には、「①家族や人間のきずなが伝わるベストシーン」と「②選んだシーンから伝わる感じ」「③その根拠となる表現」「④自分の考え」をまとめさせる。自分の心に響いたベストシーンを選び、その根拠となる表現を見つけるためには、作品全体にわたってきずなを象徴するキーワードや、人物や情景の描写に着目して読まなくてはならない。その過程では、必然的に文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考えることが求められる。「描写や例示の意味や働きに注意し、内容を理解したり表現を味わったりする」力の育成にふさわしい言語活動といえる。

指導にあたっては、「文章中の言葉を根拠にして、自分の考えを書くことができていない。」という生徒の課題を踏まえて、登場人物の心情にせまる際に、考える根拠となる登場人物の心情が表れている表現に線を引かせて意識させた上で、考えをまとめさせる。また、「複数の場面の叙述を比べたり、関係づけたりして内容を読むことができていない。」という生徒の課題を踏まえて、作品全体にわたってきずなを象徴するキーワードを中心に場面を比較させて自分の考えをまとめさせる。

### (2) 書く活動の工夫

本単元では、「個人思考(書くこと1)」⇒集団思考⇒個人思考(書くこと2)」の甲田授業モデルを活用し、しっかりと個人で考え、ペアやグループ、全体で交流することで考えを広げ、自分の思いが深化したことを踏まえて、まとめを書くという学習を展開する。

描写の効果や登場人物の言動に着目して、登場人物の人物や心情を捉える授業を中心に行う中で「個人思考(書くこと1)」で文章中の言葉を根拠にして自分の考えを書く。机間指導で、思考が深まるような声かけや投げかけを行う。集団思考では、友達の意見を聞いて考えが深まったり、新たな意見があれば、色ペンで加筆や修正をするようにする。また切り替えし発問を行い、思考を揺さぶり深化させていく。「個人思考(書くこと2)」で、改めて文章中の言葉を根拠にして自分の考えを書き思考を整理させるようにする。

(3) 目指す生徒の姿

心情を表す表現やきずなを象徴するキーワードに着目して登場人物の人柄や心情を読み取り、根拠をもとにきずなが伝わるベストシーンを書くことができる生徒。

## 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

○作品から読み取ることのできる人物の人柄や心情を通して、家族や人間のきずなについて考えをまとめようとしている。(国語への関心・意欲・態度)

◎描写の効果や登場人物の言動や様子などを考えて、登場人物の人柄や心情を読み、自分の考えをもつことができる。

(読むこと イ)

○共通語と方言の果たす役割について理解することができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ イ)

(2) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
「家族のきずなが伝わるベストシーン紹介リーフレットを書く」言語活動を通じた指導		
作品から読み取ることのできる登場人物の人柄や心情を通して、家族や人間のきずなについて考えをまとめようとしている。	描写の効果や登場人物の言動や様子などを考えて、登場人物の人柄や心情を読み、自分の考えをもっている。	共通語と方言の果たす役割について理解している。

## 指導と評価の計画

(全9時間)

次	学習内動	評 価				
		関	読	言	評 価 規 準	
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や人間のきずなが伝わる「ベストシーン紹介リーフレット」を書くという単元の見通しをもつ。</li> <li>・通読し、時代背景、舞台、登場人物の設定をとらえる。(1)</li> </ul>	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベストシーン紹介リーフレット」を書くために、家族や人間にきずなについて読もうとしている。(関心)</li> <li>・時代背景、舞台、登場人物の設定をとらえている。(読む)</li> </ul>	行動観察 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きずなを感じさせるキーワードを見つけ、きずなを感じさせる自分のベストシーンを選び、感想を書く。</li> <li>・注意する語句の意味調べを通して、文脈上の意味を理解する。</li> </ul>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の人柄や心情が表れている人物の言動や様子を表す表現を見つけ、お気に入りのシーンについてまとめている。(読む)</li> <li>・注意する語句を辞書で調べ、文脈上の語句の意味を理解している。(言)</li> </ul>	行動観察 ノート

二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きずなを感じさせる自分のベストシーンの登場人物の人柄や心情を読み取る (4)</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写の効果や登場人物の言動や様子に着目し、登場人物の人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。(読む)</li> </ul>	行動観察 ノート ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面全体で読み取れる父親の人柄や心情を考える。(1)</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写の効果や父親の言動や様子に着目し、登場人物の人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。(読む)</li> </ul>	行動観察 ノート ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きずなを感じさせるキーワードに着目して、少年がうっかり「えんぴフライ」と言ってしまった心情を読み取り、まとめる。(1)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【本時】</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の父親に対する想いを整理し、出稼ぎに戻る父との別れの場面の少年の思いをまとめている。(読む)</li> </ul>	行動観察 ワークシート
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族のきずなが伝わるベストシーン」を紹介する。(2)</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品全体を通して、描写の効果や登場人物の言動や様子などを考えて、登場人物の人柄や心情を読み、「きずな」を強く感じた場面についてまとめている。(読む)</li> </ul>	行動観察 ワークシート

## 本時の学習

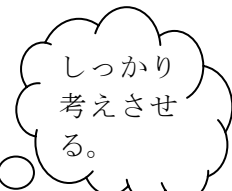
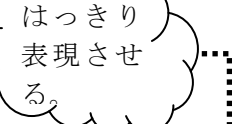
### (1) 本時の目標

- 少年の父親に対する想いを整理し、出稼ぎに戻る父との別れの場面の少年の思いをまとめることができる。

### (2) 本時の評価規準

- 今までの学習から少年の父親に対する想いを整理し、出稼ぎに戻る父との別れの場面で「えんぴフライ」と言ってしまった少年の思いをとらえ、根拠を明確にしてまとめている。

### (3) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意事項, ◆支援	評価規準 (評価方法)
1 これまでの学習を想起する。 ・今まで読んできた場면을振り返って少年にとって「えびフライ」とはどのようなものなのか思い出してみましょう。		
<b>2 本時の目標を確認する。</b>		
少年の父親に対する想いを整理し、出稼ぎに戻る父との別れの場面の少年の思いをまとめることができる。		
<b>3 うっかり「えんぴフライ」と言ってしまった少年の心情を読み取り、まとめる。</b>		
○ 父親との別れの場面を読む。	◇全員に声を出す機会を設ける。	
・父親との別れの場面で、なぜ、うっかり「えんぴフライ」と少年は言ってしまったのか自分の考えを書きましょう。		
	◇文章中の表現を根拠に少年が「えんぴフライ」と言った理由を考えさせ、記述させる。 ◆印や線を引いた所に着目させ、考えの根拠となることに気づかせる。 ◆前時までに読み取った登場人物の人柄や心情を振り返らせる。	
<b>書くこと1【個人思考1】(予想される生徒の記述・反応)</b> ・いつもより少し手荒く頭を揺さぶられて頭が混乱したから。 ・「さいなら。」と言うつもりだったけど、うっかり言ってしまった。 ・えびフライが本当においしく、また食べたいと思ったから。 ・父親がいなくなってしまうのはさみしいから、父親が家族のために買ってきてくれた思い出の「えんぴフライ」と言った。		
○ 書いたものをもとにグループの中で意見を交流する。	◆自分の考えを話す場を設け、全体交流の際に発言しやすいようにする。	
	<b>【集団思考】(集団思考の手立て)</b> ・少年にとって父親とはどのような存在なのでしょう。 ・少年が本当に言いたかった言葉は何だと思いませんか。 ・今度はいつ「えびフライ」を食べられますか？ ・今度は誰と「えびフライ」を食べたいですか？ (切り返し発問)	
○ 全体で意見交流し、話し合う。	◇根拠となる表現を挙げさせながら、自分の考えを発表させる。	
○ 自分が気づかなかったことを書き加える。	◇意見交流により他者の意見を知り、自分の考えと比較して自分の考えを深めさせる。	
	◆印や線を引いた所に着目させ、考えの根拠となることに気づかせる。 ◆前時までに読み取った登場人物の人柄や心情を振り返らせる。	
	◇スムーズに意見を伝え合えるように、役割分担をさせる。 (司会、発表、タイムキーパー、盛り上げ) <b>(加筆・修正の手立て)</b>	
○ 意見交流をふまえ、少年の心情を自分なりにまとめる。	◇友達の意見を聞いて考えが深まり、新たな考えや意見があれば、色ペンで加筆や修正をする。 (共感的人間関係) 他者の考えを取り入れる。	

**書くこと2【個人思考2】(期待する生徒の記述・反応)**

キーワード えびフライ・父親・家族・思い出・愛情

じっくり考えさせる。

B 本当は父親がいなくなってしまうのはさみしく行ってほしくない。一晩中眠らずに**家族のために**冷やし続けて持って帰ってくれた「えびフライ」が本当においしく、久しぶりに**家族四人そろっての食事**が楽しくてうれしかった。一晩という短い時間の中での**思い出**だから「えんぴフライ」と言った。

A 少年は、父親が戻ってしまうのはさみしく本当は「行ってほしくない。」と言いたい。けど、本当の思いを言うと、父親を困らせてしまうし、家族のために出稼ぎに出ているので言えない。一晩中眠らずに冷やし続けて持って帰ってくれたところに父親の**愛情**を感じた。久しぶりに家族四人そろっての食事が楽しく、「えびフライ」が本当においしかった。またみんなと一緒に食べたいという思いと、一晩という短い時間の中での一番の思い出の「えんぴフライ」と言った。

今までの学習から少年の父親に対する想いを整理し、出稼ぎに戻る父との別れの場面で「えんぴフライ」と言ってしまった少年の思いをとらえ、根拠を明確にしてまとめている【読む】(ワークシート)

○ 全体交流をする。

◇意図的指名で自分のまとめを発表させる。  
◇友達の意見を聞いて考えが深まったり、新たな考えや意見があれば、色ペンで加筆や修正をする。

**4 本時の振り返りと次時の予告をする。**

○ 振り返りを書く。

◇めあてに対する振り返りを書かせる。(書くこと1で考えていたことが、グループや全体で交流することでどのように変わったのか書かせる。)  
◇次時は、ベストシーンを選んでリーフレットを書いていくことを確認する。

(4) 板書計画

